

『まちづくり企画をつくろう①』

まちの**スキ**の育て方

創造的都市まちづくりを考えよう

日時：平成 28 年 8 月 21 日 (日)

時間：13 時 30 分～17 時 00 分

場所：名古屋市市民活動推進センター



中区錦二丁目にある名古屋市短歌会館にて、「平成 28 年度地域の“まちづくりびと”養成講座(入門編)」の第4回講座を開催しました。

この講座は、講師の名畑恵さん、名古屋都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、中区役所、都市センターを実行委員として講座の企画・運営を行っています。

13:30	13:55	14:10	14:15	14:30	14:45	15:00	15:15	15:30	15:45	16:00	16:15	16:30	16:45	17:00
1 はじめに	2 ミニ講座	3 アイデアを	4 ワールドカフェ	5 ワールドカフェ	6 各所へ新し	7 まちの	8 アナウ	9 終了						
まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの	まちづくりの

第4回講座のタイムテーブル

ふりかえりと今回のねらい

第3回講座では、まち歩きを行い、まちにある様々な課題や魅力をグループ毎の視点で探し、模造紙に整理しました。

今回の講座は、整理した課題や魅力をヒントに、課題解決や魅力向上などにつながるまちづくり企画を進めるワークショップを行うことが伝えられました。

座学「まちづくりのホップ・ステップ・ジャンプを企画しよう！」

講師から、まちづくり企画を立てるためのポイントについて講義がありました。

まちづくり企画の基本は「6W1H」であり、「いつ」「どこで」「誰が」「誰のために」「何を」「何のために」「どのように」のなかで、常に「何のために」その企画を行うのかを関係者と共有しておくこと、そして「PPPデザイン」という3つのP、短期・中期・長期のなかで企画の見通しをたてる「プロセスデザイン」、各企画詳細を検討する「プログラム・デザイン」、どのような人に集まってほしいかをデザインする「参加者構成デザイン」を念頭に置きながら考えていくことが話されました。

その事例として、あいちトリエンナーレ 2013 のときに実施された「ビジターセンター&スタンドカフェ」を挙げ、土・日曜日に開いているお店が少ない錦二丁目界隈に訪れる来訪者をもてなし、まち自身が成長するための実験的な居場所をつくることを目標とし、空きビルを活用して、地元の人、アーティスト、NPOと協働して企画を実施されたこと



を紹介されました。

また、まちづくり企画の提案発表の事例として、平成 27 年度に北区で実施された養成講座入門編でのグループ毎の発表の様子を紹介され、第 5 回目の講座最終回までの流れが示されました。



■ アイスブレイク「絵本「ききあいの木」の読み聞かせ」

ワークショップに進む前に、発想のヒントや場の雰囲気をつくるためのアイスブレイクとして、講座修了生で“まちづくりびと”の佐藤さんによる絵本「ききあいの木」の読み聞かせがありました。

絵本から、いろんな意見を聞き合うことの大切さを学んだ後、本の感想やホッとした気持ちなどを2～3人で話し合い、共有しました。



絵本の読み聞かせ

■ ワークショップ「まちづくり企画をつくろう①」

まず、グループのまち歩きなど、これまでの講座で作成した模造紙をもとに、実現したいまちの姿や克服したいまちの課題などの「目標」をグループ内の一人ずつが出し合い、予め記入枠が書かれた模造紙「企画の準備シート」へ文字を埋めていきました。次に、模造紙へ記入した目標の中で最も実現したい目標を選び、それを達成するための「しかけ」のアイデアを、付箋を用いて出し合い、模造紙にまとめていきました。



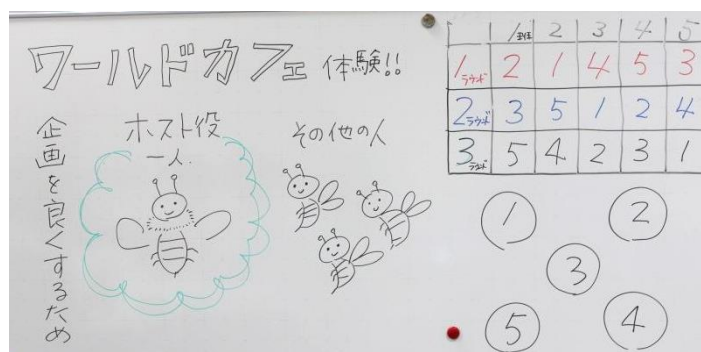
記入された企画の準備シート

講師からは、「しかけ」のアイデアは短期から長期的な事柄があるため、それらを整理しながら様々なアイデアを出すことが伝えられました。

■ ワールドカフェ体験「まちづくり企画を改善しよう」

ワールドカフェの手法を用いた企画の改善を行いました。まず講師からワールドカフェの進め方について説明があり、ホスト役（女王バチ）1人はグループに残り、他グループから来た受講生に企画の準備シートに書かれた内容を説明し、ほかの受講生（働きバチ）は他グループのまちづくり企画についてアイデアや意見を出していききました。

講師からは進め方について、「女王バチ」と「働きバチ」に例え、「他グループに働きバチが行き交うことでハチミ



ワールドカフェ体験を説明する際に使用したホワイトボード

ツが取れたり、花が咲く」、互いに異なるアイディアや助言を出し、情報共有することで、互いのグループの企画のブラッシュアップにつながると話されました。また、意見を出す際のポイントとして、「褒める」「否定はしない」「助言する」の3つが示され、受講生はアイディアを褒め合いながらグループを回っていました。



ワールドカフェ体験の様子

各グループで話し合い

ワールドカフェで他グループの受講生から出た意見、自グループの受講生が持ち帰ったアイディアをもとに話し合いをしながら、予め記入枠が書かれた模造紙「企画シート」へ文字を埋めていきました。企画シートには「目標」「ターゲット」「しかけ」「期待できる効果」などの項目を記入しました。また、第5回目の講座最終回の提案発表でポスター表現や寸劇など、どのようなプレゼンテーションをするかについても話し合いました。

「原石」ハンターズが行く！

【目標】

- ・住み良いまち
- ・クロススペースと原石のPR

【ターゲット】

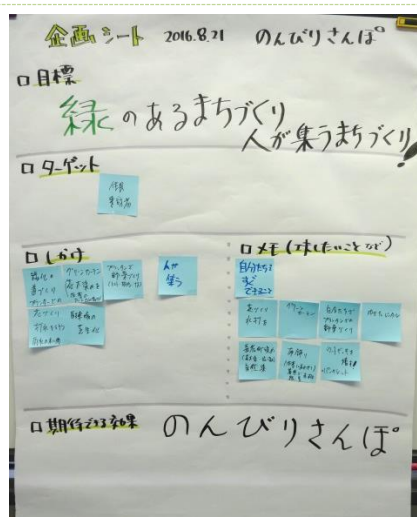
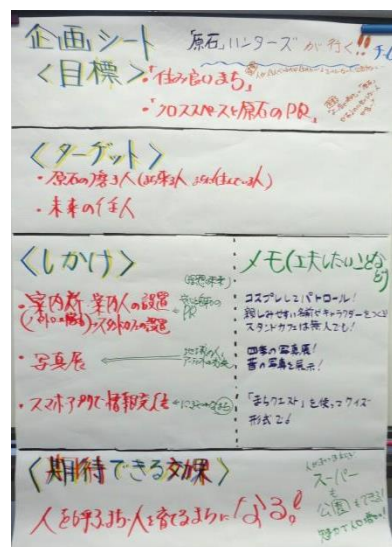
- ・原石の磨き人（まちに来る人・住んでいる人）
- ・未来の住人

【しかけ】

- ・案内所・案内人（安心と魅力のPR）
- ・スマホ・アプリで情報発信 など

【期待できる効果】

- ・人を呼ぶまち・人を育てるまちになる！！
- ・まちの魅力で人口増加 など



のんびりさんぽ

【目標】

緑のあるまちづくり、人が集うまちづくり

【ターゲット】

- ・住民
- ・来訪者

【しかけ】

- ・アーティストさんの協力で四季の花草木染めのグリーンカーテン
- ・プランターで緑化の道づくり など

【期待できる効果】

のんびりさんぽができる

スキマスイッチャー

【目標】

色とり通り～スキマを活かした個性を～

【ターゲット】

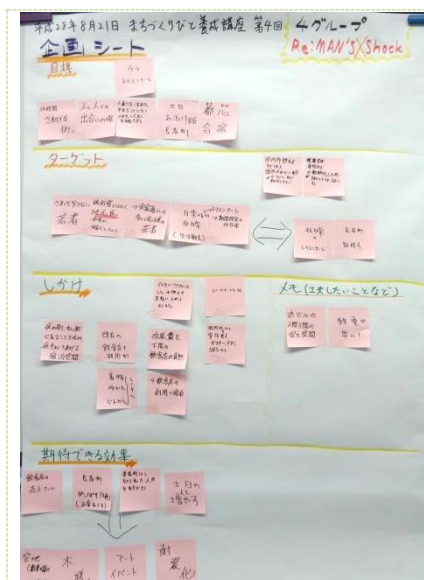
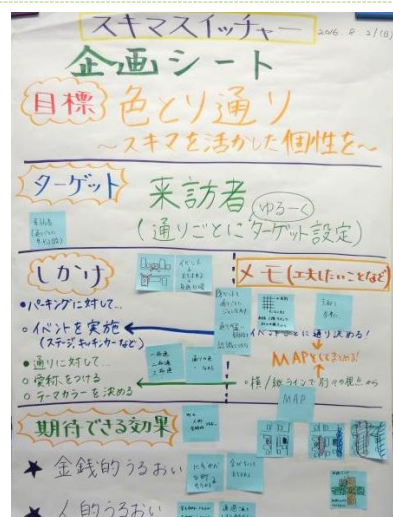
来訪者（通りごとにゆるーくターゲット設定）

【しかけ】

- ・駐車場でイベント（通りごとにジャンル分け）
- ・通りのテーマカラーを決める など

【期待できる効果】

- ・金銭的うるおい（賑やかな町→もうかる）
- ・人的うるおい（回遊性のアップ）



Re:MAN'S X Shock

【目標】

- ・人と人との出会いの場
- ・人通りを活性化（平日だけでなく土日も含めて） など

【ターゲット】

- ・さわぎ足りた若者
- ・旅行者ではなく地元民 など

【しかけ】

- ・ビルをバリアフリー化して、子どもでも入れる
- ・着物、浴衣などを長者町でレンタルしまちを歩く など

【期待できる効果】

- ・長者町で知り合った人を結ぶ
- ・土日の人を増やす など

くらしの観察隊

【目標】

子どもが安心して遊べるまち

【ターゲット】

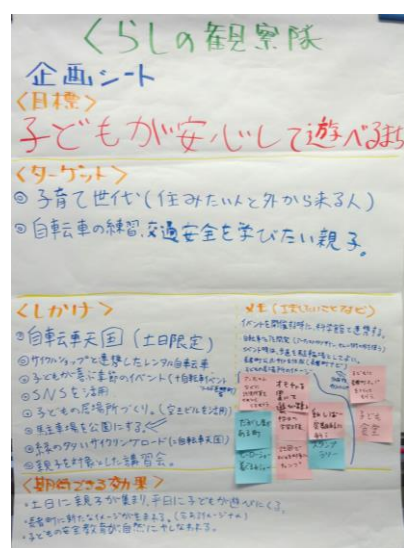
- ・子育て世代
- ・自転車の練習や交通安全を学びたい親子

【しかけ】

- ・自転車天国（土日限定）
- ・親子を対象とした自転車講習会 など

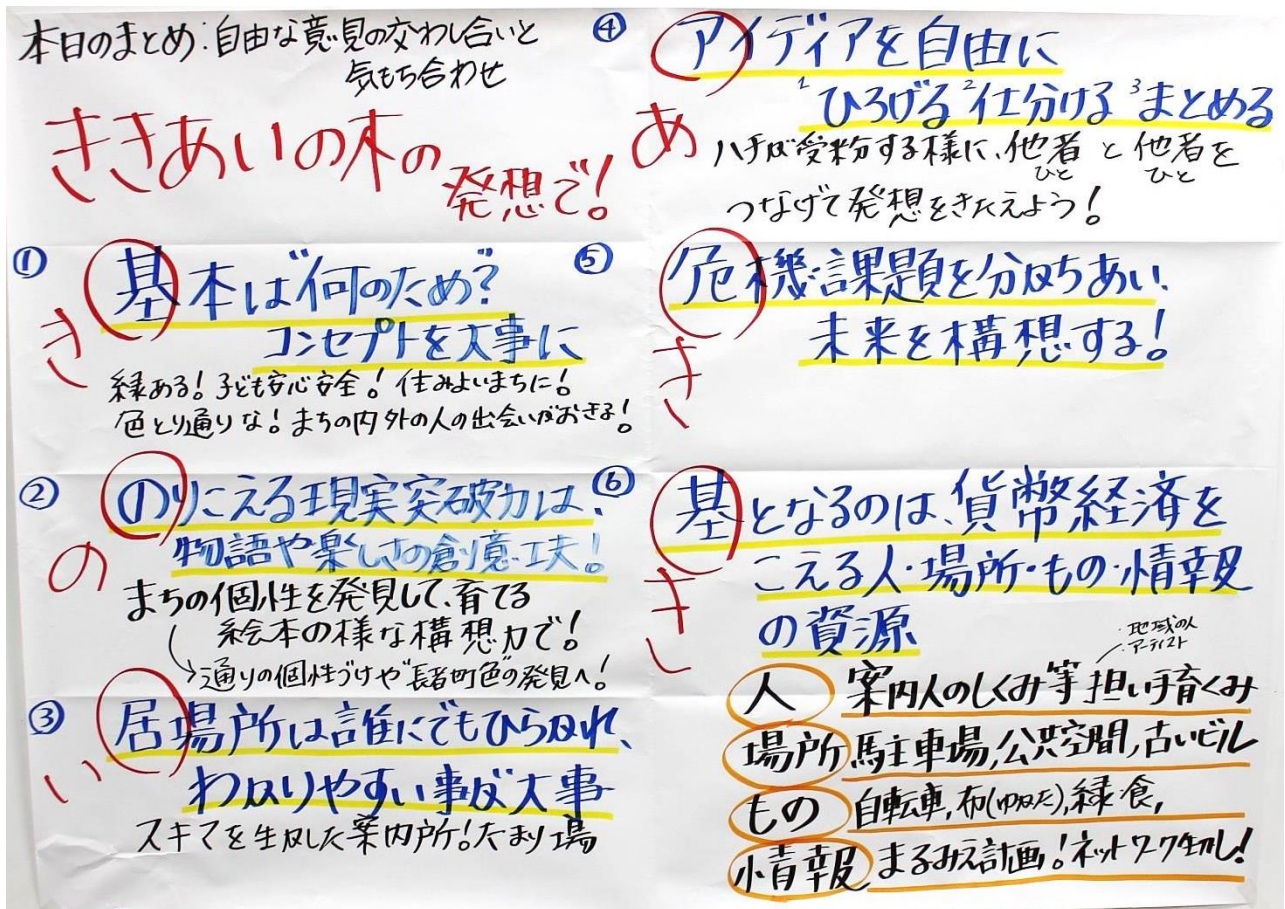
【期待できる効果】

- ・土日に親子が集まり、平日に子どもが遊びに来る
- ・子どもの安全教育が自然に養われる など



■ まとめ

講師による講座の振り返りがキーワード形式で行われました。



講師が模造紙にまとめたキーワード

また、企画には逆転の発想が重要ということで、これらのキーワードの頭文字を逆さから読み「**ききあいの木**」の発想で!」とまとめました。

最後に、次回講座の案内、アンケートの記入を行い、全員で会場の片づけをして第4回の講座を終了しました。